

専門部会報告シート

部会名	相談・くらしの部会	報告回	令和6年度第1回全体会
委員 氏名		氏名	選出母体及び役職等
	1	◎田中 研二	府中市社会福祉協議会 地域福祉部地域活動推進課 長補佐兼権利擁護課長補佐
	2	○椛島 剛之	障害当事者
	3	中川 さゆり	地域生活支援センタープラザ 施設長
	4	原 郷史	地域生活支援センターふらっと センター長
	5	麻生 千恵美	デイケアステーションカルテット 代表
	6	藤田 亜弥	ケアチーム大芽 施設長
	7	中村 弘子	府中市パーキンソン病友の会
	8	高橋 史	府中市肢体不自由児者父母の会 会長
	9	中村 嘉人	東京都立府中けやきの森学園 主任教諭
	※部会長は◎、副部会長は○		
現状	府中市では、令和3年度より地域生活支援拠点等が整備されているが、前期に引き続き、整備の進行状況や実際の運用状況の把握・検証をしていく必要がある。また、地域課題の抽出及び解決に向けて協議される場として機能を高めていく必要がある。		
検討 テーマ (概要)	「当事者の方がいつまでも地域で暮らしていけること」を検討テーマとし、令和5年度では、地域における障害のある方のニーズの把握、課題の整理を行い、6年度は、そのニーズに応えるためには、何が必要かを明確にし、部会としての答申にまとめる。		
取組 経過	<p>【令和6年度の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年度に行った、重症心身障害のある当事者に向けたアンケートの結果から、多くの当事者（家族）は自宅や施設等、地域で暮らすことを望んでいる。 また自由記載においては、入所施設の少なさや両親の高齢化を理由に、漠然とした将来への不安が見て取れた。そうした結果から、府中市でも障害当事者の方の選択肢を増やす意味からも、住み慣れた地域に施設等を整備する必要があるのではないか、との結果が見られ、近隣の26市（他市25市+府中市）への施設設置状況調査を行い、参考とすることとした。 ・他市の調査結果より、施設建設を積極的に行っている2市にオンラインでのヒヤリングを3月27日に実施。 ・直近（令和5年10月）に、身体障害の方を対象としたグループホームを開所した1市に4月18日に見学と、法人、市担当者からの聞き取りを行った。 ・府中市内にも重度心身障害者を対象としたグループホームが1か所あるが、なぜ他に増えていかないのか、建設や運営に課題があるのか、などを中心に今後施設側に調査を行う。 ・他市の状況と、府中市内施設の状況を並べ、比較することで施設増加のための課題と、解決に向けた方法を明らかにし、その結果について今年度中にまとめる答申にて提言する。 		

検討
結果

1 他市2市の調査結果について

(1) 市民や当事者のニーズをどのように聞き取っているか

ア 市の福祉計画作成時の市民アンケートからニーズを吸い上げた。【T市】

イ 手帳保持者2,300名の回答を受けて、計画の根拠とした。【M市】

(2) 施設を増やした背景等

ア 社会福祉法人からの要望を受けて、市として協力して進めることとした。

【T市】

イ 親亡き後の不安に対する要望に応える形で、重度心身障害者向けの施設建設を、市が求めていることをアピールした。その結果、建設が進められた。

【M市】

(3) 建設のために市独自の補助内容のあり方について

ア 東京都の補助上限額を超えた消耗品、備品費に一人当たり12万円補助を行った。それ以外に市独自の補助はない。【M市】

イ 東京都の補助金のみ活用。【T市】

(4) 法人や人材の確保への取り組み

ア 市として信頼できる法人と具体的な計画をすり合わせしている。【T市】

(5) 建設用地確保について

ア 路線価で、府中のおよそ2分の1で借りることができる。【M市】

イ 市街地なので、土地確保が難しかった。【T市】

2 グループホーム開設について【H市】

開設までの経緯

かねてから、親亡き後について課題として保護者から要望があり、開設を法人が希望して市に相談した。

補助金の活用状況

建物等の建築、設備等については都の補助金を活用、その他利用できないものもあったが、民間の補助金（赤い羽根共同募金や馬主協会）も最大限に活用した。市として独自の補助金は出していないが、都の補助金申請に必要な点を法人に協力した。

福祉人材の確保について

市主催の就職相談会の開催や、近隣の大学へのアウトリーチを市が実施している。就職先の選択理由は、必ずしも給与の多寡ではなく、自身のやりがいや、休日の確保を基準に考える学生の姿が見られる。

H市の特徴

入所を希望している障害者の「待機者リスト」を作成して、状況を把握している。法人や障害者団体との意見交換、各障害福祉サービス事業所との交流会などから様々な意見を日頃より聞き取っている。そうしたことから、平時より

障害者福祉課職員と、市内社会福祉法人等の施設職員との関係が近く、顔の見える関係を築けているため、お互いに相談しやすい環境にある。

これら様々な取り組みにより、市内に必要とされる施設の充足につながっているのではないかと。

こうして他市の状況を把握することはできたが、なぜ同じ都内で府中市には施設が少ないのか？

その答えが分からないと、対策も立てられないのではないかと？

との意見が部会内で出たことから、市内で重度心身障害者を対象としたグループホームを運営している施設（1か所）に、「施設が何故増えていかないのか？」を軸に、様々な角度から調査を行う。

なお、調査はここまでとし、今後はこれら市内外を比較することで、市の特性と建設のための課題、解決への糸口などをまとめ、将来的に府中市内でも施設建設がなされるよう、以て利用者の選択肢を増やせるように、部会からの答申にまとめていきたいと考えている。

会議開催状況と内容		日程	内容
	第7回	3月27日	・オンラインでの2市（T・M市）へのヒヤリング
	令和6年度 第1回	4月18日	・H市グループホーム見学と法人、市役所からの聞き取り
	第2回	5月31日	・3市の調査結果のまとめ ・今後の方向性について
	臨時回	日時未定	・市内法人（1か所）へのヒヤリング
	第3回	7月19日	・調査結果のまとめ ・答申作成について